

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

① 各指標に対する取組

当所では、地域の雇用支援機関としての役割を強化するとともに、オンラインを活用としたハローワーク内のサービスの流れの見直しを行うために次の取り組みを重点的に行いました。

- ・令和4年度に強化した求職者ニーズを捉えた相談窓口での就職支援の取り組みと、求人情報提供と併せてオンラインハローワーク紹介の利用を勧奨し、その後の追跡確認を行い、求人への応募を促し、紹介件数の増加並びにオンライン活用促進に取り組みました。
- ・求職者マイページの開設のさらなる推進のため、オンラインでの新規求職登録・求職者マイページ開設のメリットを周知勧奨し、相談窓口での開設までの支援を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手管理職員に対してPDCAサイクルの重要性及び取組について研修しました。加えて、ハローワークの職業相談等においては各種労働法の知識が必要となることから、労働基準監督署職員講師による研修を実施しました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

前年度に比べて、新規求人数・求職者数が減少し、それに伴い紹介件数及び就職件数も減少となっている一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行になったことで求職活動が活発となっている状況で、ハローワーク窓口利用促進及び就職促進のため次のサービス改善・業務改善を取り組みました。

- ・求人充足支援サービスとして事業所から提供された「企業PR動画」を求職者待合フロアでの動画上映と併せてハローワークかごしまホームページ上でも閲覧可能とし、多くの方が視聴でき、「企業PR動画」の周知用チラシもリニューアルし求人充足に向けた有効な手段として改善しました。
- ・前年度に実施した利用者アンケートでは評価が低かった「初めての利用者でもわかりやすい案内表示」について、職業相談フロアのフロアマップの更新と、庁舎内の階段に各階の窓口案内と「ハローワーク利用のお礼」と「雇用保険受給者向けハローワーク職業相談窓口利用案内」を表示し、ハローワーク窓口利用に係る心理的ハードルを引き下げる取り組みを行いました。
- ・潜在的求職者の掘り起こしとして、屋外公共掲示板にハローワークかごしま利用案内ポスターの掲示、鹿児島市電車両内に当所利用案内ポスターを1ヶ月間掲載して多くの方にハローワークの支援メニューを周知する取り組みを行いました。

(3) その他の業務運営についての分析等

長期的な物価高や人件費の高騰も企業経営を圧迫し求人数は伸び悩み、また、求職者については、失業に伴う生活不安を抱え自発的失業者の減少や慢性的な人材不足分野の事業所における労働環境改善など職場定着率向上の尽力もあり、労働移動が鈍化し減少した一方で、新たなスキルの取得やWワークなど求職者ニーズが多様化していると分析しています。

このことから、多様な求職者ニーズに応じるため、各相談窓口の専門性向上を目的とした研修を開催しました。また、繁忙部署への業務応援が臨機応変に実施できるよう事前に職員研修を実施したうえで応援スケジュールを作成し、スムーズな業務運営を行いました。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

新型コロナウイルス感染症による求職活動制限の影響や就職活動における利用媒体の多様化により、前年度同期に比べ新規求職者0.8%、紹介件数11.0%、就職件数7.7%減少しており、ハローワーク窓口利用減少に歯止めがかからない状況のもと、ハローワーク窓口を効果的に利用いただくよう、ハローワークの業務の在り方や職員の意識を変えていく必要性を踏まえて、令和5年度に取り組んだ事項に加えて次の3点も加えて取り組みます。

- ・求職者に対する支援強化として、ハローワーク利用に係る求職者の負担軽減と求人情報等の速やかな提供を行うため、「求職者マイページ開設の促進」「オンライン相談・オンライン紹介・オンラインセミナーなどオンラインの最大限の活用」「各種支援を必要としている求職者の確実な把握と提供」に取り組みます。

- ・求人充足に向けた取り組み強化として、求人充足検討会議等で取り込んだ支援対象求人を紹介部門・求人部門が情報共有して求人充足に向けた確実な支援、及び、両部門での事業所訪問による情報収集や求人の条件緩和の提案等によるマッチング支援の強化にも取り組みます。

- ・雇用保険受給者に対する支援強化として、雇用保険初回説明会（初回講習）において、ハローワークの個別支援窓口等を積極的に利用頂くために説明内容等を随時更新し早期再就職を促す取り組みを行います。

2. 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	公的職業訓練修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数		
令和5年度目標	9,117	10,838	3,438	90.0%	90.0%	550	64.6%	710	685	95.1%	250		
令和5年度実績	8,010	9,543	3,330	64.6%	97.5%	592	71.7%	762	683	99.1%	258		
目標達成率	88%	88%	97%			108%	111%	107%	100%	104%	103%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。